

## 令和4年度 日本語指導力養成研修 実施要項

- 1 目的 大阪府における帰国・渡日の子どもたちへの教育の現状と課題について理解し、日本語指導の在り方や進め方について認識を深めるとともに、子どもたちへの効果的な日本語指導や支援の方法について学ぶ。
- 2 対象 小・中学校、義務教育学校、府立学校（岸和田市立産業高等学校の定時制の課程を含む）の教職員

募集人数 40名

## 3 内容等

回	日時	内容	講師等
1	オンデマンド開催 7月7日（木） ～ 7月28日（木）	大阪府における帰国・渡日の子どもたちへの教育の現状と課題について  日本語指導のためのワークショップ① －日本語指導の必要な子どもたちの理解と支援の在り方について－ 〔講義・講演・演習〕	大阪府教育センター 指導主事等  NPO法人おおさかこども多文化センター 理事 安田 乙世
	提出締切: 8月4日（木）		
2	7月21日（木） 14:00～17:00	子どもたちの母語や母文化を尊重するために －韓国・朝鮮語を例に挙げて－  日本語指導のためのワークショップ② －日本語指導の必要な子どもたちの理解と支援の在り方について－ 〔講義・講演・演習〕	府立学校教職員  NPO法人おおさかこども多文化センター 理事 安田 乙世

## 4 会場 第1回 所属校等

第2回 大阪府教育センター（大阪市住吉区菟田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m  
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m  
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

## 5 担当室 人権教育研究室

- 6 その他
- (1) 受付は30分前から。
  - (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
  - (3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
  - (4) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認すること。
  - (5) Web開催（オンデマンド開催、リアルタイム開催）の場合、研修対応ポータルサイトの実施マニュアルを参照すること。

一括募集1

## 令和4年度 日本語指導力養成研修 シラバス

## 1 目的

大阪府における帰国・渡日の子どもたちへの教育の現状と課題について理解し、日本語指導の在り方や進め方について認識を深めるとともに、子どもたちへの効果的な日本語指導や支援の方法について学ぶ。

## 2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期									○	○	○		○	○	
第1期															
第0期															

## 3 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	大阪府における帰国・渡日の子どもたちへの教育の現状と課題	帰国・渡日の子どもたちをとりまく現状と課題について理解する。	講義を通して、大阪府内の帰国・渡日の子どもたちの教育の現状と課題について学ぶ。	
	日本語指導のためのワークショップ① ー日本語指導の必要な子どもたちの理解と支援の在り方についてー	日本語指導の必要な子どもたちの背景や課題及び支援の在り方について理解する。	講演・演習を通して、日本語指導の必要な子どもたちの背景や課題、それらを踏まえた支援の在り方や意欲を持って学べる授業づくりの実際について学ぶ。	
2	子どもたちの母語や母文化を尊重するために ー韓国・朝鮮語を例に挙げてー	日本語指導の必要な子どもたちへの母語・母文化の保障の重要性について理解する。	日本語指導の必要な子どもたちの理解や家族間コミュニケーション、民族的アイデンティティの確立につながる母語・母文化の必要性について学ぶ。	<b>事前課題</b> 「日本語指導のためのワークショップ①ー日本語指導の必要な子どもたちの理解と支援の在り方についてー」を視聴しておく。  <b>準備物</b> 「日本語指導のためのワークショップ①の振り返りメモ」に必要事項を記入して持参する。
	日本語指導のためのワークショップ② ー日本語指導の必要な子どもたちの理解と支援の在り方についてー	日本語指導の必要な子どもたちの背景や課題及び支援の在り方について認識を深める。	第1回のワークショップの内容をふまえ、講演・演習、意見交流を通して、子どもたちとの関係性を築くための効果的な支援の方法について認識を深める。	